＜令和８年度 新規＞

一般社団法人名古屋林業土木協会会員のＣＮ、ＧＸ、ＮＰ、生物多様性、ＤＸ等の取組事例

※前回報告からの変更・進展がない場合も「継続」として現在の状況をご記入ください。新たな取組は「新規」としてください。

実施主体				
区　分	**ＣＮ** **（カーボンニュートラル）** 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる取組。	**ＧＸ** **（グリーントランスフォーメーション）** 化石エネルギー中心の産業･社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換する取組	**ＮＰ** **（ネイチャーポジティブ・生物多様性）** 生物多様性の損失を食い止め、自然の回復を目指す取組。	**ＤＸ** **（デジタルトランスフォーメーション）** データやデジタル技術を活用して、業務・組織・プロセス等を変革する取組。
取組名称	カーボン・オフセットの実施と普及活動			
取組の区分・状況	新規（前回報告に無し）			
取組開始時期	2024年に取り組み開始			
前回からの変更・進展				
現在の取組内容	・2024年に自社活動におけるカーボン・オフセットの独自ルールを策定 ・2024年から随時カーボン・クレジット（Ｊ－クレジット、Ｇ－クレジット）を購入し、独自ルールに従ってカーボン・オフセットを実施 ・自社活動の現場等にてカーボン・オフセット実施のPR活動（ターポリンシート掲示など）			
経　費	315,000円（令和6年～8年において30.0t-co2分のカーボン・クレジットを購入）			
効果・成果	・令和6年度～8年度において、毎年10.0t-co2のカーボン・クレジットを購入 ・令和6年度：9.0t-co2、令和7年度：3.0t-co2、令和8年度：9.0t-co2のカーボン・オフセットを実施。 ・森林経営活動への応援、森林保全活動への貢献。 ・自社活動から排出される温室効果ガス（CO2）の一部を相殺する。 ・会社のブランディング力強化を図る。 ・岐阜県建設工事入札参加資格審査に係る主観的事項審査の加点および工事成績評定における評価加点			
課　題	・カーボン・クレジットの確保（現時点では予定どおり購入できているが） ・独自ルールの見直し（現時点では考えていないが）			
今後の予定・展開	引き続き独自ルールに従ってカーボン・オフセットを実施し、地球温暖化軽減に貢献する。			
備考・コメント				

写真1	GIFU　Ｊ-クレジット

写真2	
写真3	
写真4	